

よかったね! みんなの願い実現! 2025年度予算



日本共産党は、日々の相談やアンケートなどで区民の声をあつめ、区長への予算要望書や議会質問で、区民の要望を繰り返し提案してきました。2025度予算で実現した事の一部を紹介します。

●学童クラブ

①定員拡充

▶4月から

花園小学校内(新設56人)

落合第一小学校内(127人→146人)

戸山小学校内(55人→93人)

▶来年1月から

北新宿第一(46人→106人)

※柏木小学校内学童クラブ(仮称)に名称変更

▶来年4月から

余丁町小学校地域(新設38人)

②学校長期休業中等のお弁当配送

始業式、終業式、修了式の日も追加

ひろばプラスも対象に追加

●スクールソーシャルワーカー 3人→5人

●学童養護員 79か所→81か所

●重度障害者等の通勤支援

●障害児等タイムケア事業を年齢制限なしに

●耐震化支援事業の障害者・要介護高齢者等が居住する住宅の補助率 3/4→10/10

●小中学校に給水器を設置

●落合中央公園の人工芝とネットの全面張替え 照明のLED化

●障害者グループホームの開設2所(払方町、中落合一丁目)

●障害者の相談支援事業所への助成

●地域活動支援を行う精神障害者施設への支援 4所→5所

●生活困窮者へ転居費用を支給

●生活保護世帯の子どもの進学・就職準備給付金

●一次避難所に無料無線LANを整備

補聴器購入費の補助ようやく実現 都の補助活かし更に増額を!

2024年度から東京都が単独補助を始めた「高齢者の聞こえのコミュニケーション事業」は上限14万4900円で実施する自治体に半額補助するもの。この制度を活用し2025年度の予算では4区が上限いっぱいまで拡充し、補助額も年齢も都の制度を活用し多くの区が改善しています。

新宿区は2025年度からようやく補聴器購入費助成を開始しますが、これまで実施してきた現物支給の枠を超えない助成の金額です。これでは補聴器が高くて買えないとの要望に応じられません。日本共産党は今定例会で、補助を2倍にする予算修正を行いました。引き続き、改善のため頑張ります。

都の制度

「高齢者の聞こえのコミュニケーション事業」

上限144,900円

実施自治体に半額補助

対象は65歳以上

区の新制度

上限33,000円

(生活保護世帯、中国残留邦人は35,000円)

対象は70歳以上

23区では

4区が上限は144,900円

16区が50,000円以上

対象は21区が65歳以上

1区が60歳以上

猛暑から
命を守る

エアコン購入への助成を

地球温暖化の影響で1年のうち猛暑・酷暑となる期間が長くなっているためエアコンの設置は必須ですが、経済的な理由でエアコンを設置できない人がいます。

日本共産党はすでに実施している荒川区や江戸川区、港区の例や2025年度実施する板橋区や江東区な

どの例をあげるとともに、東京ゼロエミポイント事業の活用をしてもらい、区として上のせ補助すべきと区長に求めましたが、「その考えはない」と答弁。日本共産党は予算修正の提案も行いましたが否決されました。

(※1面参照)

